

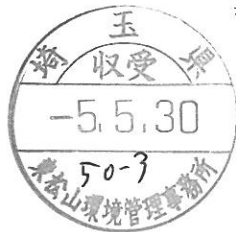
（第1面）

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和 5 年 5 月 30 日

（宛先）

埼玉県 東松山環境管理事務所長



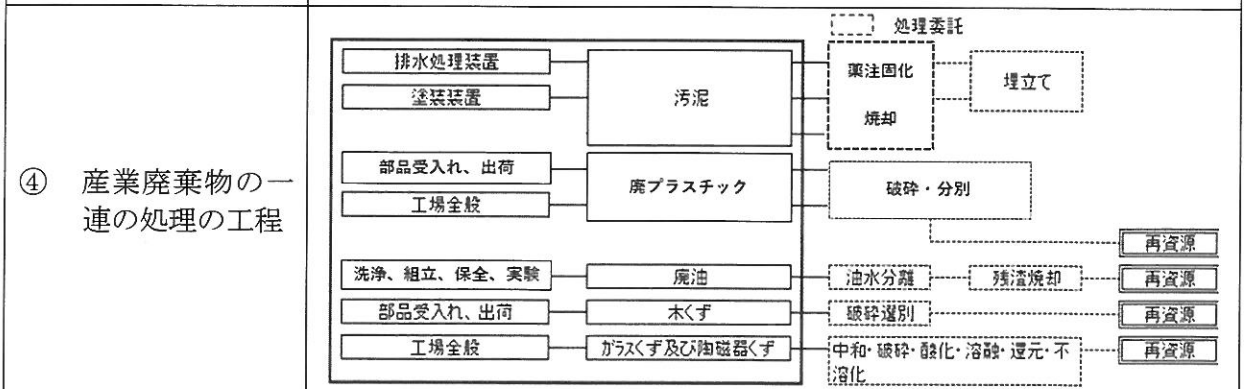
報告者 氏名又は名称及び住所 東京都渋谷区渋谷三丁目6番7号  
 並びに法人にあつては ボッシュ株式会社 印  
 その代表者の氏名 取締役社長 クラウス・メーダー  
 （電話番号 03-3400-1551）

令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	ボッシュ株式会社 むさし工場
事業場の所在地	埼玉県比企郡滑川町月輪 1464-4
計画期間	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
変更の概要	

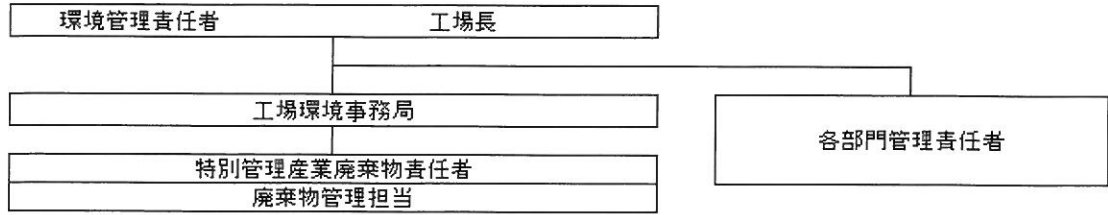
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	輸送用機械器具製造
② 事業の規模	11,420(百万円)
③ 従業員数	336名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	廃油	汚泥（無機）	ガラスくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	102.1t	67.4t	28.5t	0.3t	37.1t
	(これまでに実施した取組) 【廃プラスチック類】 ・製造部不良品廃棄物の削減 ・廃却空箱の有償化 ・梱包用ラップ材の有償化(平成27年度) ・木パレのプラパレ化による再利用と有償化の実施(令和元年度)					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	廃油	汚泥（無機）	ガラスくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	114.0t	64.0t	35.0t	0.3t	229.0t
	(今後実施する予定の取組) 【廃プラスチック類】 ・再分別の実施によるPP系品の有償物化 ・プラパレのリユース化推進 ・電動工具類の有償化 【木くず】 ・木パレ有償化、規格サイズ化によるリユースの推進					

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工場内分別パトロールの実施(1/3ヶ月) ・廃棄物分別の徹底(チェックシートによる自主チェック 毎月)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・有償物化、環境負荷の少ない処理のための細分別の検討

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物処理委託契約の適正管理 ・直接埋立て量ゼロ化 ・再資源化率の向上		

② 計画	【目標】別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理の取得推進(処理業者へ) ・環境負荷を考慮した処理方法と処理先の検討	
※事務処理欄		

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
  - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

別紙

廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	汚泥(無機)	ガラスくず及び 陶磁器くず	木くず	
①現状	全処理委託量	102.1ton	67.4ton	28.5ton	0.3ton	37.1ton
	優良認定処理業者 への処理委託量	102.1ton	67.4ton	20.2ton	0.3ton	0t
	再生利用業者へ の処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油	汚泥(無機)	ガラスくず及び 陶磁器くず	木くず	
②計画	全処理委託量	114.0ton	64.0ton	35.0ton	0.3ton	229.0ton
	優良認定処理業者 への処理委託量	114.0ton	64.0ton	19.0ton	0.3ton	0t
	再生利用業者へ の処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t